

Scope1,Scope2のGHG (温室効果ガス) 排出量の算定と削減目標

【GHG排出量実績の推移】

●当社グループのGHG排出量の約99%は電気の使用等に伴う間接排出 (Scope2)となっております。

単位:t-CO2		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
Scope1	燃料使用による排出	137	125	128	132
Scope2	電力使用による排出	7,024	5,996	5,969	6,257
	空調使用による排出	2,208	2,693	3,212	3,293
	小計	9,232	8,689	9,181	9,551
合計(※1)		9,370	8,814(※2)	9,309	9,683(※3)

※1：グループ連結のGHG排出量を表示しております。

※2：2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による店舗運営の休止等により排出量が少なくなっております。

※3：2022年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から徐々に正常化が進み、排出量が増加しております。

●当社グループのScope2排出量は、そのほとんどが店舗運営に伴う電力及び空調の利用に由来しています。

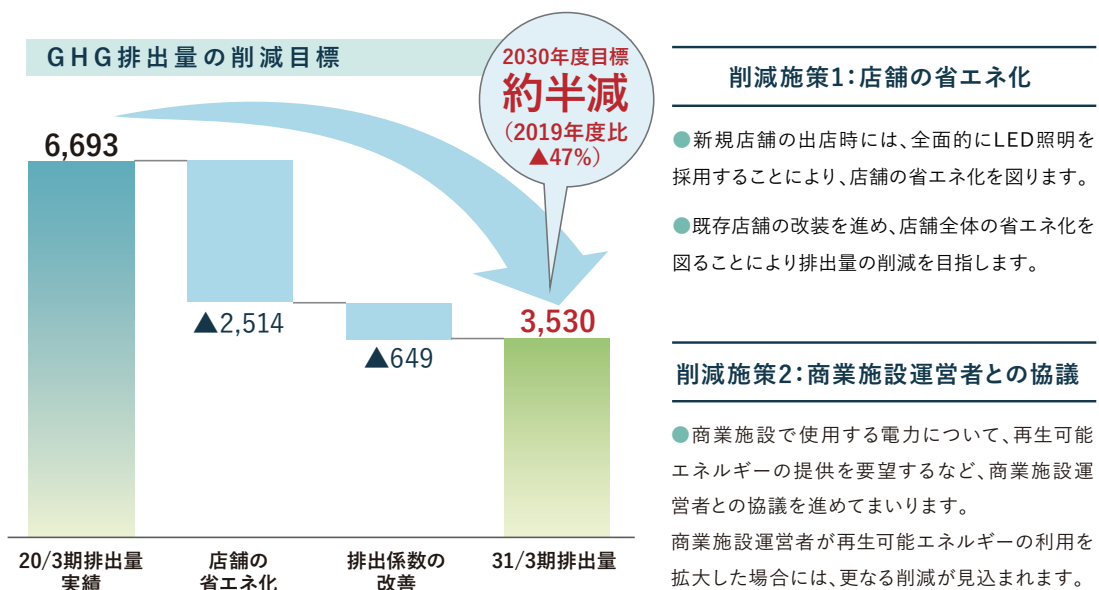
単位:t-CO2		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
Scope2排出量		9,232	8,689	9,181	9,551
店舗での電力使用由来(※1)		6,596	5,618	5,622	5,925
店舗での空調使用由来(※2)		2,208	2,693	3,212	3,293
その他		428	378	347	332
(株)東京デリカの店舗数(店)		626	630	608	569
(株)東京デリカの店舗の総床面積(m ²)(※1)		79,163.46	81,453.50	80,481.56	78,352.75

※1：2022年度については、(株)東京デリカの店舗の総床面積は2019年度比でほぼ横ばいですが、店内照明のLED化の推進等により、店舗での電力使用由来CO2排出量は2019年度比で10.2%減少しております。

※2：2022年度の店舗での空調使用由来CO2排出量は2019年度比で増加しておりますが、空調使用は商業施設運営者の裁量によるものであり、直接コントロールできないため、削減施策として、再生可能エネルギーの提供を要望するなど、商業施設運営者との協議を進めてまいります。

【GHG排出量の削減】

店内照明のLED化をはじめとした省エネ化の推進により、2030年度までに店舗で使用する電力由来の排出量を2019年度比で▲47%削減することを目指します。



※グループの内、排出量の最も多い(株)東京デリカのScope2の排出量を削減する目標としています。

(株)東京デリカのScope2排出量がグループの総排出量の約95%(2019年度実績)を占めております。)